

# 「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化事業」に関する相模原市大規模事業評価調書における市民意見に対する市の考え方について

## 1 概要

主に淵野辺駅南口周辺地域に分散している公共施設を集約・複合化し再整備を行うこと、再整備に併せ鹿沼公園をリニューアルし、都市公園としての魅力向上を図ること及び施設を集約・移転により生み出されることとなる土地については、民間の知識やノウハウを活用することで、商業地としてのまちのにぎわい創出を図る「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化事業」に関する相模原市大規模事業評価調書について、市民の皆様からのご意見を募集いたしました。

その結果14人の方から53件のご意見をいただき、お寄せいただいたご意見についての意見募集の概要、ご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

なお、対応方針の決定に当たりましては、今回いただいたご意見を踏まえ、市民や施設利用者への説明を通じてご理解をいただきながら、引き続き、検討を進めてまいります。

## 2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 平成29年12月7日(木)～平成30年1月31日(水)
- ・ 募集方法 直接持込、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページに掲載及び都市計画課、市立図書館、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター(城山・橋本・本庁地域・大野南まちづくりセンターを除く)、各出張所、各公民館(青根・沢井公民館を除く)、橋本・相模大野図書館、図書館相模台分館、市立公文書館で閲覧・配布

## 3 結果

### (1) 意見の提出方法

意見数		14人(53)件
内 訳	直接持込	3人(21)件
	ファクス	3人(7)件
	電子メール	8人(25)件

### (2) 意見に対する本市の考え方の区分

区分	件数
ア：計画案等に意見を反映するもの	12
イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの	16
ウ：今後の参考とするもの	25
エ：その他(今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など)	0

( 3 ) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の内容	市の考え方	区分
1	<p>「設定理由」の「商業地としての計画的な土地利用の推進」は、一体誰のための推進か？            北口や南口の既存商店の繁栄を本気で考えるプランなのか？            市有地を売った市と買った業者間でだけ繁栄があるプランなのではないか？            12月22日の説明会以後、疑っている。            その理由は、交通量の変化を想定（交通量を増えさせない対策を立てる）せず            に「商業地としての魅力を高める」というからだ。            どこまで真剣に取り組んでいるのか？            中心商業地を作るわけではない。作るのは地区中心商業地だから、で思考停止しているように思った。</p>	<p>淵野辺駅周辺地区につきましては、都市機能を複合的に備えた「中心市街地」である橋本駅、相模原駅、相模大野駅周辺とは異なり、地区の特性に応じた都市機能の集積を図る拠点として、日用品のほかに、書店や雑貨店などの買い回り機能が期待される「地区中心商業地」に位置付けられております。            このことから、現在の公園をはじめとした緑豊かな環境や文教施設が多く集まる淵野辺駅南口の特色を生かしながら、さらに利便性の高いエリアとして、将来にわたり住み続けたいとなるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。            頂いたご意見を参考に、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」の「土地利用の計画」等において、淵野辺駅南口の特色を生かした魅力あるまちづくりを進めていくことをお示ししてまいりたいと考えております。</p>	ア
2	<p>課題解決のために最も有効な手段であることの説明            「生活利便性の高い」街は既に南口にある。そこにマンションと商店を導入して人口を増やすことは「今ある生活環境の劣化」を否応なくもたらす。それをよることで受け入れられるだけの「プラス」があるのか、市の説明はまだ不足している。市はただ「市有地を売って終わり」にするのではないかと疑う。            「良質な教養環境」を創出するには相当の検討が必要だが、本気でやるなら、市民の参加の機会を確保すべきだ。当然検討時間が要る。            耳障りの良いことばを並べて、「あるがままの鹿沼公園の価値」を破壊しただけでこの事業が終わる可能性が、現時点では高い。</p>	<p>淵野辺駅周辺地区につきましては、都市機能を複合的に備えた「中心市街地」である橋本駅、相模原駅、相模大野駅周辺とは異なり、地区の特性に応じた都市機能の集積を図る拠点として、日用品のほかに、書店や雑貨店などの買い回り機能が期待される「地区中心商業地」に位置付けられております。            このことから、現在の公園をはじめとした緑豊かな環境や文教施設が多く集まる淵野辺駅南口の特色を生かしながら、さらに利便性の高いエリアとして、将来にわたり住み続けたいとなるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。            頂いたご意見を参考に、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」の「土地利用の計画」等において、淵野辺駅南口の特色を生かした魅力あるまちづくりを進めていくことをお示ししてまいりたいと考えております。</p>	ア
3	<p>「お金の話」を市民に理解できるように、説明せよ。</p>	<p>大規模事業評価調書では、複合施設を鹿沼公園内に整備するスキームをお示ししておりますが、検討の過程においては、複数の案を比較・検証しております。            頂いたご意見を踏まえ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」にそれらの案を追加で記述し、ご理解を得てまいりたいと考えております。</p>	ア

通番	意見の内容	市の考え方	区分
4	<p>複合施設を鹿沼公園に建てるメリット、デメリットをきちんと検討して進めないと、大金を使って今ある価値（鹿沼公園と周辺住宅地が持っている価値）及び地域に点在する商店の営業力を破壊しただけで終わる可能性もある。メリットばかり喧伝する姿勢は危険だ。</p>	<p>本事業は、公共施設の集約複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体となって行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るものです。</p> <p>大規模事業評価調書では、複合施設を鹿沼公園内に整備するスキームをお示ししておりますが、検討の過程においては、複数の案を比較・検証しております。</p> <p>頂いたご意見を踏まえ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」にそれらの案を追加で記述し、ご理解を得てまいりたいと考えております。</p>	ア
5	<p>淵野辺駅南口周辺は商業地としての利用は少なくとも、地域住民のニーズは足りているのが現状。北口は空き店舗も多い状況であり、南口だけの計画とするのは同じ大野北地区として不公平感を感じる。</p> <p>北口にはすでに商店街としての区画があるのだから、南口と北口をつなぐ、淵野辺駅周辺全体として計画するべきと考える。</p>	<p>淵野辺駅周辺地区につきましては、都市機能を複合的に備えた「中心市街地」である橋本駅、相模原駅、相模大野駅周辺とは異なり、地区の特性に応じた都市機能の集積を図る拠点として、日用品のほかに、書店や雑貨店などの買い回り機能が期待される「地区中心商業地」に位置付けられております。</p> <p>このことから、現在の公園をはじめとした緑豊かな環境や文教施設が多く集まる淵野辺駅南口の特色を生かしながら、さらに利便性の高いエリアとして、将来にわたり住み続けたいまちづくりを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>頂いたご意見を参考に、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」の「土地利用の計画」等において、淵野辺駅南口の特色を生かした魅力あるまちづくりを進めていくことをお示ししてまいりたいと考えております。</p>	ア
6	<p>コスト比較が2例ずつしかないのは、十分な比較をしたと考えられず、妥当であるとは言えない。</p>	<p>大規模事業評価調書では、複合施設を鹿沼公園内に整備するスキームをお示ししておりますが、検討の過程においては、複数の案を比較・検証しております。</p> <p>頂いたご意見を踏まえ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」にそれらの案を追加で記述し、ご理解を得てまいりたいと考えております。</p>	ア

通番	意見の内容	市の考え方	区分
7	<p>自転車駐車場の整備場所について、この移動により発生する交通の問題が検討されているデータや、周辺住民への配慮がされていない。適切とは言えない。他の場所との比較が必要であると考え。</p> <p>鹿沼公園への複合施設建設については、鹿沼公園の価値を下げる計画であると考え。工事期間中の仮施設の必要性、間借りをしての対応など公園の価値を下げることで、当面の費用負担をはかりにかけたときに、将来世代に残すべきものは何なのか、駅前でありながら豊かな自然と空間のある公園と、駅前の市民の土地こそ、優先して残すべきものだと考える。工事期間中の不便は現世代が負えばいい。そういう考え方による案も示され、比較されるべきだと考える。</p>	<p>大規模事業評価調書では、複合施設を鹿沼公園内に整備するスキームをお示しておりますが、検討の過程においては、複数の案を比較・検証しております。</p> <p>頂いたご意見を踏まえ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」にそれらの案を追加で記述し、ご理解を得てまいりたいと考えております。</p>	ア
8	<p>調書にある、施設移転後の土地を売却した場合の収入額の目安を知りたいです。</p> <p>また、平成29年5月22日に開催された平成29年度第1回大野北まちづくり会議において「売却時期が遅くなると土地が売れなくなる」とのご説明がありましたが、土地の売却が1年遅れるとどれほどの差額が出るのか、知りたいです。</p> <p>すぐ売れなくなる土地なら、民間商業施設を作っても、収益が上がらずに撤退されてしまうのではないのでしょうか。説明会でも「今のままではこの地区に魅力がない（収益性が見込めない？）ので入る商業施設はないかも」というような旨の発言をされておりましたが、どう整備されていくのか、不安です。</p>	<p>施設移転後の土地につきましては、売却や定期借地権などによる活用を検討しておりますが、頂いたご意見を踏まえ、土地を活用した場合の効果額について「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」に記載したいと考えております。</p>	ア

通番	意見の内容	市の考え方	区分
9	<p>淵野辺駅南口周辺は、基本的に住宅地であり、商業施設は元々少ないにも関わらず、「商業施設の撤退による空き店舗の発生」を地域の衰退原因の1つに挙げる事は非常に不自然である。</p> <p>淵野辺駅南口周辺は、駅に近い住宅地として人気がある。図書館・鹿沼公園が存在することが根底にある。</p> <p>商業施設が少ないのは地域としてのニーズが少ないためであり、商業地域としての集積を図るのであれば、商店街が存在する北口を対象とする方が自然である。</p>	<p>淵野辺駅周辺地区につきましては、都市機能を複合的に備えた「中心市街地」である橋本駅、相模原駅、相模大野駅周辺とは異なり、地区の特性に応じた都市機能の集積を図る拠点として、日用品のほかに、書店や雑貨店などの買い回り機能が期待される「地区中心商業地」に位置付けられております。</p> <p>このことから、現在の公園をはじめとした緑豊かな環境や文教施設が多く集まる淵野辺駅南口の特徴を生かしながら、さらに利便性の高いエリアとして、将来にわたり住み続けたいと考えるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>頂いたご意見を参考に、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」の「土地利用の計画」等において、淵野辺駅南口の特徴を生かした魅力あるまちづくりを進めていくことをお示ししてまいりたいと考えております。</p>	ア
10	<p>鹿沼公園内への施設建設では公園本来の魅力が損なわれてしまう。</p> <p>図書館の駐車場、まちづくりセンター・公民館の東側と西側にある駐車場のみで相当の面積がある。これらを利用し、まちづくりセンター・公民館・図書館等の複合化を段階的に進めることを提案したい。</p>	<p>本事業は、公共施設の集約複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体となって行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るものです。</p> <p>大規模事業評価調書では、複合施設を鹿沼公園内に整備するスキームをお示ししておりますが、検討の過程においては、複数の案を比較・検証しております。</p> <p>頂いたご意見を踏まえ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」にそれらの案を追加で記述し、ご理解を得てまいりたいと考えております。</p>	ア

通番	意見の内容	市の考え方	区分
11	<p>「商業施設の撤退による空き店舗の発生」は近い将来ではなく、現在進行形で進んでいる事態であり、淵野辺駅南口周辺を商業地として土地利用することについては、現時点で将来的な展望が見いだせない。また、周辺大規模住宅開発でも、商業施設を組み込んだ閉じた生活圏を形成しており、折からのEコマースの急速な進展もあいまった中で新たな商業地形成事業を行うことは、テナント物件の供給過剰を生み出し、活性化事業から外れた地区（特に北口周辺）の更なる衰退を危惧するものである。したがって、南口周辺については土地利用の現況を追認し、闇雲に商業者等を集積させるのではなく、商業機能としての機能充実は北口周辺へと機能をそれぞれ分化・特化させた上で、淵野辺駅北口南口の往来をよりスムーズに行えることに行政は注力すべきである。なお附言すれば、商業施設の撤退は単に外部的な要因から生じるものではなく内部的な要因にも着目すべきであり、テナントの入れ替えや育成、発信といった強力なマネジメント機能が地域に存在しなければ、新たな商業施設を形成したとしても、いずれ衰退するという指摘もなされている。（参照：「新雅史「商店街はなぜ滅びるのか」光文社2012年）</p>	<p>淵野辺駅周辺地区につきましては、都市機能を複合的に備えた「中心市街地」である橋本駅、相模原駅、相模大野駅周辺とは異なり、地区の特性に応じた都市機能の集積を図る拠点として、日用品のほかに、書店や雑貨店などの買い回り機能が期待される「地区中心商業地」に位置付けられております。</p> <p>このことから、現在の公園をはじめとした緑豊かな環境や文教施設が多く集まる淵野辺駅南口の特徴を生かしながら、さらに利便性の高いエリアとして、将来にわたり住み続けたいとまちづくりを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>頂いたご意見を参考に、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」の「土地利用の計画」等において、淵野辺駅南口の特徴を生かした魅力あるまちづくりを進めていくことをお示ししてまいりたいと考えております。</p>	ア

通番	意見の内容	市の考え方	区分
12	<p>今回の案では、駐輪場が200m以上離れた鹿沼公園に移転するため、利便性が大きく低下し、駅近の価値を損ねます。</p> <p>また、駐車場も十分に取られておらず、そこに利用者の多い図書館が移転すると今以上に使いづらくなることは容易に想像できます。これらの施設は逆に駅前に集約すべきではないでしょうか。</p>	<p>本事業は、公共施設の集約・複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体となして行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るものと考えており、自転車駐車場の移転もその一環として行うものです。</p> <p>大規模事業評価調書では、複合施設を鹿沼公園内に整備するスキームをお示ししておりますが、検討の過程においては、複数の案を比較・検証しております。</p> <p>頂いたご意見を踏まえ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画(案)」にそれらの案を追加で記述し、ご理解を得てまいりたいと考えております。</p> <p>なお、自転車駐車場の整備に当たっては、平置き式などの止めやすいスペースの整備や、自転車専用通路の整備による周辺の交通安全環境の確保、放置防止監視員による放置防止対策、駅利用者に加え公園や施設利用者への配慮など、総合的な取り組みにより、利便性の高い施設整備と共に、周辺の安全確保等に努めるとともに、自動車駐車場につきましても、公園や複合施設の利用者の増加や自動車駐車場の有料化による適正利用を勘案し、駐車場の適切な規模について検討してまいりたいと考えております。</p>	ア
13	<p>ヴィスタは、歩行者専用。</p> <p>時間帯での分けもありますが、のんびり公園へ向かっていく両側のお店なども楽しめる全体の空間づくりを。</p>	<p>頂いたご意見を踏まえ、魅力ある商店等を誘致し、施設移転後の土地以外の民間の土地についても出店意欲を喚起させるような魅力あるまちづくりを検討してまいります。</p>	イ
14	<p>休日は子供たちが親・祖父母と交通ルールを楽しく学べる貴重な交通公園です。</p> <p>それが遊べる場所や遊具が減ると、ただの少し広い公園になります。これから子育て世帯の獲得競争が行われる中で、わざわざ魅力を損ねかねない方がよいのではないのでしょうか。</p>	<p>児童交通公園につきましても、より多くの子どもや親子連れが楽しめ、また、交通ルールを学べる場となるよう、公園全体のリニューアル計画の中で、機能向上を図りつつ、効果的な配置を検討してまいりたいと考えております。</p>	イ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
15	<p>機関車、児童交通公園を鹿沼公園の西側に移動し（野球場廃止）、現在の蒸気機関車のあたりに複合施設を整備していただくと、（可能なら現在の図書館も繋げて）駅からのアクセスも短くなるので更に魅力が出ると考えます。</p>	<p>頂いたご意見を参考に、各施設の機能が効果的に発揮できるような配置の見直しを含め、児童交通公園や子どもたちの遊び場としての必要な面積の確保や、機能の向上を図りながら、公園全体のリニューアルを検討してまいりたいと考えております。</p>	イ
16	<p>ほぼ不要の水生植物池やあづまやは（花見時期以外は、いつ行っても少数の人間がいるか、いないかです。）今回の計画に合わせて廃止し、有益くないし、より住民の為の）使用法を模索していただけたら嬉しく思います。（駐車場や、民間に渡す等でも現在よりは、良いと考えます。）</p>	<p>公園全体のリニューアルした姿につきましては、これから検討することとなるため、具体的に蓮池やあづまやを整備するかは今後の検討となりますが、頂いたご意見を踏まえ、よりよい公園となるよう、リニューアルを検討してまいります。</p>	イ
17	<p>「公園の土地と複合施設の防災機能との相乗効果」については一度も説明されていないので、知りたい。</p>	<p>広域避難場所については、大規模な火災による火煙やふく射熱から一時的に命を守るための場所であることから、大規模な空間や耐火性の建物を有した公園や学校などを指定しております。</p> <p>鹿沼公園は広域避難場所に指定されていますが、集約・複合化することを想定している施設には、地域の防災対策の中心である大野北まちづくりセンターも含まれており、複合施設に必要な機能につきましては、防災の視点も踏まえ、検討してまいりたいと考えております。</p>	イ
18	<p>鹿沼公園に収益施設を建設することで、児童交通公園が狭くなる。収益を考えるなら、移動車などが売りに来る形にして、公園の人工物がない空間を保持することが、公園の価値を維持する。そういうコストの考え方もあるのではないかな？</p>	<p>複合施設の中に設置を検討している民間収益施設につきましては、頂いたご意見を踏まえ、利用者の利便性や公園の魅力を高めるような施設を設置する条件設定について、検討してまいりたいと考えております。</p>	イ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
19	<p>「機会や場の設定」          淵野辺駅南口を我が町と考えている人々（団体に属さない住民。公園利用者。商工業者など）と協議する場なしに事業を推進しても、全く市民のためにはならない。ということはまちのためにも市のためにもならないということだ。          「まちの賑わいとはなにか？」というテーマは、「駅前から公園が広がる街、淵野辺」構想と協議可能な考えだった。          改めて、両者の協議の場を、市がお膳立てしないか？</p>	<p>本事業は、公共施設の集約・複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体となって行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るものです。          基本計画策定後には、複合施設や公園全体のあり方、施設移転後の土地の活用方法などについて、市民の皆様、専門的な知見を有する方々、ノウハウを持つ民間事業者などの意見を伺い、事業の具体的な内容について、検討してまいりたいと考えております。</p>	イ
20	<p>「調和の配慮」「想定される影響等への対応」を読むと、市側は、駅南口と鹿沼公園周辺が"現在持っている価値"に無頓着だと感じる。古ぼけた公園と賑わいのない街角、ぐらいの認識ではないか？しかし、ここに暮らしてきた人間、この環境を求めて移り住んできた人間は、「今あるがまま」に大いに価値を見いだしているのだ。          従って、基本計画の推進は住環境の価値破壊以外の何者でもない。したがって、破壊する環境や景観への配慮、影響低減への工夫は必須である。          市内の鉄道駅前で淵野辺南口のようなところは、いつの間にか全て消えてしまった。唯一残った昔ながらの駅前の価値を、都市計画課に認識してほしい。そのうえで、対応だ。</p>	<p>現在の公園をはじめとした緑豊かな環境や文教施設が多く集まる淵野辺駅南口の特徴を生かしながら、さらに利便性の高いエリアとして、将来にわたり住み続けたいまちづくりを進めてまいりたいと考えております。</p>	イ
21	<p>「商業地として生まれ変わる」必要性に賛成しないが、期待しているような効果が実現する案なのか、疑問である。</p>	<p>施設移転後の土地の活用方法につきましては、基本計画策定後に、地域の方の希望や民間事業者のニーズを確認しながら検討してまいりたいと考えております。</p>	イ
22	<p>事業化に賛成します。          この事業は今後の人口減少、市の財政難が見込まれる中で、市の既存施設の老朽化が進んでおり大きな課題となっています。施設の集約化、合理化は必要であり今回の再整備事業は的を射た事業と考えます。拙速はいけませんが、この計画が市民のためになると市当局の方々も自信をもって取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>本事業につきましては、頂いたご意見を踏まえ、引き続き検討してまいりたいと考えております。</p>	イ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
23	<p>淵野辺駅周辺に必要なのは「商業施設」よりも、「オフィス施設」ではないか。大きな設備が不要なIT系企業の誘致や育成に取り組む方が新たな流入を期待できる。現に横浜市以外の神奈川県都市部にはオフィス利用できる施設が非常に少ない。</p> <p>産学協同を図るには適切な立地のように思える。</p>	<p>基本計画策定後には、施設移転後の土地の活用方法などについて、市民の皆様、専門的な知見を有する方々、ノウハウを持つ民間事業者などの意見を伺いながら、事業の具体的な内容について、検討してまいりたいと考えております。</p>	イ
24	<p>鹿沼公園野球場を土日の昼間一定時間（1～2時間程度でも）、一般開放し、キャッチボールくらいできるようにしてはどうか。単に野球をする場所としての利用のみではなく、新たな利用方法を検討することで公園の魅力・価値を高めることも必要だと考える。</p>	<p>ご意見を踏まえ、公園全体のリニューアルの中で、野球場の使用方法等についても検討してまいりたいと考えております。</p>	イ
25	<p>大野北地区（淵野辺駅南口側）の再開発に関して「活気ある街づくり」とあるが、それにはメリハリのある商業施設が望ましい。「衣・食・住・文化」等テーマのある施設であってほしい。衣＝ファッション、食＝フード、住・文化＝知的共有の施設であってほしい。</p>	<p>基本計画策定後には、施設移転後の土地の活用方法などについて、市民の皆様、専門的な知見を有する方々、ノウハウを持つ民間事業者などの意見を伺いながら、事業の具体的な内容について、検討してまいります。</p>	イ
26	<p>近年淵野辺駅北側地域には多くの大学キャンパスがあり、淵野辺駅利用客は増大している。さらに今回の南口の公共複合施設と併せて商業施設の誘致活性事業も行うには交通アクセスの利便性も高めて行くことが当然必要と考える。</p> <p>そこで是非実現願うのは</p> <p>JR淵野辺駅を「快速停車駅」にすべき。</p> <p>バス路線の充実も行う。</p> <p>当然、外部折衝が増える訳ですが発展のキーワードですので是非実現を願う次第です。</p>	<p>交通ネットワークの充実は大切な視点だと考えており、基本計画策定後には、市民の皆様、専門的な知見を有する方々、ノウハウを持つ民間事業者などの意見を伺いながら、事業の具体的な内容について、検討してまいりたいと考えております。</p>	イ
27	<p>鹿沼公園付近は、地盤が安定していない。高層建築物は大地震時、液状化などを起こすことが十分予想がつき無理である。（2011.3.11で証明済み）</p>	<p>複合施設を整備をする際には、各種法令に基づき、地盤調査などの事前調査を行い、建築物の強度を確保したうえで、周辺住民の方への影響も考慮しながら進めるものと考えております。</p>	イ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
28	<p>子どものための公園は維持すべきだ。 削ったり、変更してはいけない。</p>	<p>児童交通公園や子どもたちの遊び場につきましては、必要な面積の確保や、機能の向上を図りながら、公園全体のリニューアルを検討してまいりたいと考えております。</p>	イ
29	<p>駅前市有地を3つまとめて売るという規模の妥当性について触れていない。</p>	<p>施設移転後の土地の価格につきましては、売却や定期借地権などによる活用を検討している段階でございますので、「規模の妥当性」については、複合施設に係る妥当性を評価したものです。</p>	ウ
30	<p>「成果目標 達成目標」として上がっているうちの上3つは既に南口にある。あ るもので十分といえる。今回の事業は、それを一度破壊した上で改めて「マイナ ス」をカバーすることを「環境/景観への配慮」として掲げている。</p>	<p>本事業は、公共施設の集約複合化、将来にわたる財政負担の 軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの 創出を一体となって行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の 抱える課題の解決を図るものと考えております。</p>	ウ
31	<p>「地区中心商業地としての適切な商業機能」とは、具体的にどのようなことを想 定しているのか？ (「近隣商業地」より「買い回り機能」を高めて「地区中心商業地」にする必要が 感じられない。そもそも、淵野辺は過疎地ではないので、「買い回り機能」と言う ことがわかりにくい。) 集約複合化が市民の利便性を「向上させる面」と併せて、「損なう面」の考察は 充分に行っているか？ 市民にその考察の跡が全く示されていないので、都合の悪いことは見ないように しているのではないかという疑惑を生んでいる。</p>	<p>淵野辺駅周辺地区につきましては、都市機能を複合的に備え た「中心市街地」である橋本駅、相模原駅、相模大野駅周辺と は異なり、地区の特性に応じた都市機能の集積を図る拠点とし て、日用品のほかに、書店や雑貨店などの買い回り機能が期待 される「地区中心商業地」に位置付けられております。 このことから、現在の公園をはじめとした緑豊かな環境や文 教施設が多く集まる淵野辺駅南口の特色を生かしながら、さら に利便性の高いエリアとして、将来にわたり住み続けたくなる まちづくりを進めてまいりたいと考えております。</p>	ウ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
32	<p>公園利用者が42万人増えるという数字の根拠（算出した計算基礎資料）を知りたい。これは年間で42万人増ということか？</p> <p>その場合、<math>42万 \div 365 = 1150人</math>（1日あたり）が今より多く来るとして、彼らが公園に来る手段は何を想定しているのか？</p> <p>地域が「賑やか」になれば、相模原の場合は車で来る人が増える。その対策がきちんと考えられていないのでは困る。先に想定しておかないと、後からでは打つ手がないことは、現公園の駐車場を見れば明らかだ。同じ間違いを市に繰り返されるのは困る。</p> <p>P13の公園利用者数との違いも分からないので、聞きたい。</p>	<p>施設利用者数・公園利用者数につきましては、複合施設利用者の年間増加人数として推計したものです。本推計につきましては、他都市における同規模の図書館移転により増加した利用者数を参考として算出しております。</p> <p>また、自動車駐車場につきましては、公園や複合施設の利用者の増加や自動車駐車場の有料化による適正利用を勘案し、駐車場の適切な規模について検討してまいりたいと考えております。</p>	ウ
33	<p>官民連携事業導入検討調査の結果はいつ公表されるのか？</p> <p>その結果、導入出来ないとされた場合、この事業はどうなるのか？</p>	<p>官民連携事業導入検討調査につきましては、公共施設の整備・運営について、市が直営で行った場合と民間活力を活用した場合とを比較した財政効果等について、専門的な見地から、客観的に調査をしているものです。</p> <p>その結果を踏まえ、事業手法を検討してまいりたいと考えております。調査の結果につきましては、既に報告書の全文が国のホームページ上で公表されておりますのでご参照ください。</p> <p><a href="http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/sosei_kanminrenkei_tk1_000014.html">http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/sosei_kanminrenkei_tk1_000014.html</a></p>	ウ
34	<p>日本全体が高齢化社会になっており、今後急速にそれが進むことに対して、対処する案ではない。（これは、確認です。対処する案を作れと言っているわけではありません。）</p> <p>全体スキームは、コスト削減と収入増で将来の財政難に対処しようとするらしいが、視野に入れている時間軸は「ホンの当面のこと」である。</p> <p>（新しい複合施設を60年後に建て替えるとき、60年先のことは考えていないなら、何年先まで見通しているか？「売って建てるまで」しか考えていないと思っている。違うならどこまで考えているか。詳しく説明する会を開け。）</p>	<p>大野北地区についても、他の地区と同様に近い将来、人口の減少・急速な高齢化が推計されているため、多様な世代の方たちが将来にわたって住み続けたいような魅力的なまちづくりを行い、次世代に引き継がれる持続可能な地区としての発展を図るため、本事業を計画しているものです。</p>	ウ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
35	480人と見込まれる住民増は、税収増のほかに、市財政に何をもたらすか？ そのメリット、デメリットが検討されているのかが不明	住民増加に伴う市財政への影響としては、大規模事業評価調査に記載した固定資産税及び都市計画税のほか、個人市民税などが見込まれます。 市の負担としては、教育・保育施設等給付費など義務的経費が増加することも想定されますが、人口を維持し、将来にわたり持続可能な都市経営を行うことは大切な取組だと考えております。	ウ
36	駅前交通をどうコントロールするのか、という構想がない。	淵野辺駅南口の周囲の交通安全対策につきましては、自動車、自転車及び歩行者が安全に通行できる交通環境の整備を検討してまいります。	ウ
37	青少年学習センターは、市で唯一の青少年の場であり、複合施設の中に入れるのは反対です。 きちんと別館にしてほしい。	青少年学習センターは、相模原市内の青少年を対象とした広域的な施設との認識であり、今まで別々であった施設と複合化することにより、世代間交流が生まれるなど、今まで以上に子どもたちの居場所としての機能を高める事ができるものと考えております。 今後、市民や施設利用者等のご意見を伺いながら、施設のあり方や機能等について検討してまいりたいと考えております。	ウ
38	まちづくり会議から、一般市民へ情報が下りてきていなかったことが明らかになっているので、市民等の意向・要望等を把握している、とは言えない。	本事業は、平成20年の大野北地域まちづくり提言書の提出を契機に、地域団体等で構成される地区まちづくり会議と市が継続的に議論をしてまいりました。その後、計画案の作成に向け、平成29年5月から、まちづくり会議や各施設利用団体への説明や意見聴取、施設利用者アンケートなどを行いながら、検討を進めてまいりました。 以上のことから「市民等の意向・要望等の把握」「意向・要望等の把握の有無」において「把握している」とさせていただきます。	ウ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
39	<p>市立図書館を中央図書館と位置づけて再整備する計画でありながら、延べ床面積が現行施設の合計より縮減することは、中央図書館のための周到な検討、構想がなされた結果とは考えられないので、妥当であるとは言えない。</p>	<p>図書館のあり方につきましては、現在、図書館が抱える課題を踏まえ、市民や施設利用者、学識経験者などのご意見を伺いながら、中央図書館としてのあるべき姿や機能を構築することが重要と考えております。</p> <p>また、複合施設の具体的な仕様や運営方法につきましては、各施設の設置目的や課題を踏まえ、施設利用者のご意見を伺いながら、それぞれが必要とする機能を確保しつつ、複合化による効果的な活用が図られるよう、利用者の共通理解のもとで検討していくことが重要と考えております。</p> <p>そのうえで、集約・複合化による廊下などの共用スペースの削減や、例えば利用人数に合わせ分割可能な会議室の整備など利用者ニーズに合わせた諸室の検討、諸室の相互利用などにより、利便性が高く使いやすい施設となるよう検討してまいります。</p>	ウ
40	<p>駅前でコンビニや飲食店が充実している土地柄で、そのすぐ近くにある公園に収益施設を作ることは、駅前の商業施設と競合するのではないかと考える。公園内、南口駅前、北口商店街をあわせた計画とすべき。施設の維持費や人件費を収益施設によって採算が取れるという根拠を示すべきである。</p>	<p>大規模事業評価調書では、公共施設の集約複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体となっていくことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るという事業のスキームをお示ししております。</p> <p>基本計画策定後には、複合施設や公園全体のあり方、施設移転後の土地の活用方法などについて、市民の皆様、専門的な意見を有する方々、ノウハウを持つ民間事業者などの意見を伺いながら、事業の具体的な内容について、検討を進めてまいります。</p>	ウ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
41	<p>調書は、施設移転後の土地をすべて売却した場合の人口増加・税収増加の仮定でしょうか。</p> <p>説明会では、売却か賃貸かを決めていないとのことでしたが、市としては出来る限りすべて売却して一時的利益を得たいとお考えでしょうか。</p>	<p>大規模事業評価調書における、集約・複合化を行った場合における試算については売却した場合における人口増加・税収増加を前提として試算しております。</p> <p>基本計画策定後には、施設移転後の土地の活用方法などについて、市民の皆様、専門的な知見を有する方々、ノウハウを持つ民間事業者などの意見を伺いながら、事業の具体的な内容について、検討を進めてまいりたいと考えております。</p>	ウ
42	<p>商業施設部分が延べ床面積で3割という事は、ほとんどの施設跡地はマンション一体型の商業施設（低層階が商業施設、中層階以上が住居）を想定しているという事でしょうか。</p>	<p>試算にあたっては、施設移転後の土地に係る容積率を延べ床面積に換算し、住宅として70%程度利用するものと仮定したものです。</p>	ウ
43	<p>市民の財産について</p> <p>財政不足だからと言って、市民の財産を安易に売却していいのでしょうか？</p> <p>財政不足というのは、市職員の逃げ道です。</p> <p>何処にお金を使えば市民の為になるかをもっと考えてください。</p> <p>自分達（市職員）の給料は仕事に対して適正なのでしょうか？</p> <p>高い税金（市県民税・固定資産税）を苦しい中からきちんと収めている者からすると、市職員の給料が高過ぎると思います（全国市町村3231の中で91位）。</p> <p>再度、ご一考を。</p> <p>建物の老朽化が進んでいる？</p>	<p>本事業は、公共施設の集約複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体となって行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るものです。このように、財政負担の軽減につきましては、この計画の柱の一つとして位置付け、検討してまいりたいと考えております。</p>	ウ
44	<p>6ページ「市民等の意向・要望等の把握」について、「大野北地区まちづくり懇談会」では毎回話題が出ているようだが、地域住民が含まれていない、情報が周知されていないという状況にも関わらず、「市民等の意向・要望等の把握」「意向・要望等の把握の有無」において「把握している」というのは根拠に欠ける。</p>	<p>本事業は、平成20年の大野北地区まちづくり提言書の提出を契機に、地域団体等で構成される地区まちづくり会議と市が継続的に議論をしてまいりました。その後、計画案の作成に向け、平成29年5月から、まちづくり会議や各施設利用団体への説明や意見聴取、施設利用者アンケートなどを行いながら、検討を進めてまいりました。</p> <p>以上のことから「市民等の意向・要望等の把握」「意向・要望等の把握の有無」において「把握している」とさせていただきます。</p>	ウ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
45	<p>11ページ「整備場所の妥当性」にある「商業地としてのまちのにぎわい」を最大の利害関係者である周辺住民が求めているという根拠が示されていない。</p> <p>「大野北地区まちづくり懇談会」「淵野辺駅南口周辺の公共施設再整備と地域活性化のために専門部会」に、公園周辺の住民・公園周辺の自治会代表の参加が認められていない。</p>	<p>本事業は、平成20年の大野北地域まちづくり提言書の提出を契機に、地域団体等で構成される地区まちづくり会議と市が継続的に議論をしてまいりました。その後、計画案の作成に向け、平成29年5月から、まちづくり会議や各施設利用団体への説明や意見聴取、施設利用者アンケートなどを行いながら、検討を進めてまいりました。</p> <p>以上のことから「市民等の意向・要望等の把握」「意向・要望等の把握の有無」において「把握している」とさせていただきます。</p>	ウ
46	<p>9ページ「需要予測（利用者見込等）」は、どのタイミングでの予測結果なのか不明である。今後の人口減少が明らかであるにも関わらず、複合施設化すれば長年に渡って利用者が増える状態が続くかのように受け取れる。</p> <p>駐輪場について「需要をすべて満たす収容台数を整備することとした」とあるが、複合化対象施設（公民館、まちづくりセンター、図書館、青少年学習センター、あさひ児童館）の駐輪台数や鹿沼公園への駐輪台数が含まれていないため、適切な値ではない。</p> <p>「需要予測」を行うのであれば、今後の人口変化等を踏まえる必要がある。しかし、「複合施設化を実施しない場合」を「増減なし」とした「複合施設化した場合」の「増加分」のみを算出している。実際には、「複合施設化を実施しない場合」であっても長期的には人口変化等によって増減が発生する。「複合施設化を実施しない場合」の需要の増減予測を元に、どのような「複合施設化」を行うのかを考えるべき。しかし現状では「建てれば良い」とする箱物行政の典型的なパターンになっている。</p>	<p>複合施設の利用者見込みにつきましては、現時点の利用者数を参考に、他都市における同規模の図書館移転により増加した利用者数を参考として算出しております。</p> <p>また、自転車駐車場につきましては、公園や複合施設の利用者の増加等を勘案し、適切な規模について検討してまいりたいと考えております。</p>	ウ
47	<p>10ページ「整備手法」にあるコスト比較には、複合施設整備案の費用へ本来必要ならぬ「公園整備費」が含まれていないのではないかと。</p> <p>鹿沼公園内に複合施設をそのまま建設可能な更地は存在しない。</p>	<p>整備手法に係るコスト比較については、公園整備費を含んで試算しております。</p>	ウ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
48	<p>11ページ「規模の妥当性」において、共用部分の集約で延床面積の縮小を図ることになっているが、実利用面積は現行のまま、を意味するように思える。9ページにおいて「需要増加」を予測しているにも関わらず、現行のままでは辻褃が合わない。</p> <p>複合施設化の費用を低く見せるために、規模をあえて縮小しているように思える。</p>	<p>「規模の妥当性」については利用者見込みやコスト比較、同種類似施設のデータの検証から必要な整備量について検証したものであり、共用部分の集約による延べ床面積の縮小を図ると共に、例えば利用人数に合わせ分割可能な会議室の整備など利用者ニーズに合わせた諸室の検討、諸室の相互利用などにより、利便性が高く使いやすい施設となるよう検討してまいりたいと考えております。</p>	ウ
49	<p>「民間活力」に過度な期待が寄せられているが、その根拠が不明。</p> <p>調書が目標として掲げる「活気と魅力ある街作り」が実現するためには、商業施設と地域住民との相互協力が必要であり、そのためには、誘致される商業施設が長期にわたって展開する必要がある。</p> <p>それをどのようにして担保するのかという、マネージメント機能をまず構築しない限り、民間活力への期待は画餅と帰す恐れがある。</p>	<p>大規模事業評価調書では、公共施設の集約複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体と行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るといった事業のスキームをお示ししております。</p> <p>基本計画策定後には、複合施設や公園全体のあり方、施設移転後の土地の活用方法などについて、市民の皆様、専門的な知見を有する方々、ノウハウを持つ民間事業者などの意見を伺いながら、事業の具体的な内容について、検討を進めてまいりたいと考えております。</p>	ウ
50	<p>複合施設の具体的な形が見えていない中での需要予測には無理があるものと考えられる。</p>	<p>複合施設の需要予測については、他都市における同規模の図書館移転により増加した利用者数を参考とし、その他の施設については、現在の各施設の利用率及び使用面積を参考に利用人数を算出しています。</p>	ウ
51	<p>市民の財産を、たった1度か2度の議会審議で売却を決してしまうのはもったいである。売却はやるべきではない。1度民間へ売却してしまったら、市民へ戻ることはない。</p>	<p>施設移転後の土地につきましては、売却や定期借地権などによる活用を検討しておりますが、公共施設の集約複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体と行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るものと考えております。</p>	ウ

通番	意見の内容	市の考え方	区分
52	<p>市の財政は市債の割合も高く、緊迫している。  そんな中、巨費を投じての開発計画は断固反対する。  自分の首をしめることである。少子高齢化だからこそ、緊縮財政をめざす。身の丈に合った財政計画こそ、市民が今の生活を守るための出来る唯一の道と考える。</p>	<p>大規模事業評価調書では、公共施設の集約複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体となって行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るといった事業のスキームをお示ししております。  基本計画策定後には、複合施設や公園全体のあり方、施設移転後の土地の活用方法などについて、市民の皆様、専門的な知見を有する方々、ノウハウを持つ民間事業者などの意見を伺いながら、事業の具体的な内容について、検討してまいりたいと考えております。</p>	ウ
53	<p>この時期に淵野辺駅南口の施設再整備等を行わなければならない必要性はあるだろうか。性急に南口の事業を進めるべきではない。商店街の活性化を図るならば、淵野辺でなければという独自性のあることを、住民（駅利用者含めて）を加えて行うべきだ。  複合化は白紙に戻し、もっと市民の意見を聞くべきでしょう。</p>	<p>本事業は、公共施設の集約複合化、将来にわたる財政負担の軽減、鹿沼公園の魅力向上、民間活力による駅前のにぎわいの創出を一体となって行うことにより、淵野辺駅南口周辺地域の抱える課題の解決を図るものです。このように、財政負担の軽減につきましては、この計画の柱の一つとして位置付け、検討してまいりたいと考えております。  基本計画策定後には、複合施設や公園全体のあり方、施設移転後の土地の活用方法などについて、市民の皆様、専門的な知見を有する方々、ノウハウを持つ民間事業者などの意見を伺いながら、事業の具体的な内容について、検討してまいりたいと考えております。</p>	ウ